



# コツコツ とことん

大仙市立太田中学校  
令和5年3月20日  
NO. 139



うららかに たくましく ～耕し 萌えたち みのらせ さきみだる～

## 令和4年度の修了です

新型コロナウイルス感染症については、令和5年5月8日から「新型インフルエンザ等感染症」に該当しないものと5類感染症に位置付けられることに伴い、マスク着用の考え方の見直しがなされ、政府より令和5年3月13日以降、マスクの着用については個人の判断に委ねる旨、発表されたところですが、文部科学省から、学校等におけるマスク着用の取扱いについては、令和5年4月1日以降の新学期から適用する旨の通知がありました。学校では通知に基づき、引き続き、令和5年3月31日までは学校の活動中はマスクを着用することとしています。ただし、3月11日の翠陽学年の卒業式については、別添の通知及び市教育委員会からの指示に従い、感染対策を講じた上で、4年ぶりに在校生も参列し、卒業式後の門送りまで行って3年生の門出を祝福することができました。3年前、保護者も参列できず、卒業生と職員だけで実施した卒業式のことを思い出すと、涙があふれるほどうれしかったですし、やっとここまできたかと安堵の気持ちも覚えました。

場所や場面、人数によってはマスク着用が推奨されたり、周りを見ると様々な理由から多くの人がマスクを着用している状況ですが、この後アフターコロナへの動きが加速していくことを期待せずにはられません。

この3年間、私たちは特別な年を過ごしました。そして、多くのことを考えさせられ、学びました。

「わずかの間に人類に危機をもたらす危険が存在すること」「どんなに願い、がんばってもどうしようもないことがあること」「予期せぬ事態、想定外の事態にあっても、素早くその状況を見極め、判断し、行動していかなければいけないこと」「日常、普通、当たり前のありがたさ」……。でも、子どもたちの「今できること」に全力で励む姿にたくましさや成長を感じた3年です。

今年度を振り返りましても、様々なことがドラマのように思いだされますが、2年生は卒業生から襷を受け継ぎ、既に学校のあらゆる活動の中心となり、自覚をもって活躍しています。1年生は入学当初の幼さが嘘のように、体つきや表情・態度もすっかり中学生らしくなり、学習や部活動等全ての面で成長し、後輩を迎える先輩となっています。「太田Pride」の後継者たちは、本当に頼もしく感じられるようになりました。

4月7日（金）には新入生39名を加え、全校生徒132名で令和5年度がスタートします。「アフターコロナ」の第1世代の子どもたちには、現状を見極めながらも夢と希望をもって新たな年度を迎えてほしいものです。

保護者の皆様にもご難儀をお掛けしたことも多々ありました。今年度の修了の日を迎えましたが、これまで頂戴した、皆様の温かいご支援に心から感謝申し上げます。来年度、本校は「保護者・地域と一緒にあって子どもたちを育てる」コミュニティ・スクールをより機能させ、皆様と共に職員一丸となって子どもたちの指導・援助に当たってまいりますので、今後ともご協力をお願いいたします。

私にとっての最後の修了式の話では、次のスライドを使いながら、太中生への期待と願い伝え、1年の締めくくりとしました。



### 令和4年度が終わります

### 1年の締めくくりに



いつも機嫌よく  
生きていくコツ

人の助けになるか  
誰かの役に立つか

人のため 誰かのために



### 太中生への四つの願い

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| ①<br>強い人に<br>優しい人に | ②<br>家族を裏切<br>らない人に |
| ③<br>底力の<br>ある人に   | ④<br>幸せに<br>なりなさい   |



この1年間  
元気に頑張って  
くれてありがとう

もっともっと  
躍動し 充実した  
全力の令和5年度に